

# 日本一早く春を告げる 白く瑞々しい輝き

たまねぎは北極圏をのぞいたほぼ世界中で栽培されている野菜です。そのふるさとには、乾燥した砂漠が広がり、寒暖差が大きい中央アジア周辺。長期間保存ができて、持ち運びが容易、さらに栽培しやすいという特徴から、世界各地に広がりました。今回は白たまねぎを栽培する「あったか農場」代表取締役社長の渥美隆裕さんと取締役の渥美敦子さんにお話を伺いました。



か独立したいという目標を抱いていました。その後、縁あって篠原町のたまねぎ農家さんを手伝ううちに就農を決意。今では、白と黄を合わせて年間215トン出荷するたまねぎを主力に、トマトやナス、とうもろこしやブロッコリーなど、10種類の野菜を栽培しています。

日本一早い出荷を叶えた  
先人の知恵と努力を守る

長い歴史を持つたまねぎですが、



## 始まりは紀元前 薬効も有名な野菜

たまねぎはヒガンバナ科の野菜で、食べるところは根ではなく、葉の一部が土の中で太ってボール状になった部分です。古代メソポタミアでは約6000年前から栽培されていた。また、古代エジプトではピラミッド建設の労働者にたまねぎが配られた記録があるほか、殺菌・防腐効果を期待してミイラの目の窪みなどにたまねぎを詰めることがあったそうです。

たまねぎを切るときに涙が出る原因は硫化アリルです。ほかの野菜にはあまり含まれていない珍しい成分で、悪玉コレステロールを減らして血液をサラサラにし、血流を改善します。また、たまねぎの皮は抗酸化作用のあるケルセチンをたくさん含んでおり、病气やアレルギーの予防、脂肪の燃焼に役立つほか、美肌効果もあります。皮はよく洗って出汁を取ったり、皮ごと焼いたりして、食事に取り入れてみてください。

## ピンと伸びた葉っぱは 採れたてのしるし

このように、健康な体づくりに役

## 人をつなぎ夢をつなぎ ビジョンの実現へ

たった1人で始めたたまねぎづくりは、2021年の法人化を経て、今や正社員とパートタイマーを合わせて27名体制に。奥様の渥美敦子さんは、過去に他社で営業やイベント運営などに携わった経歴を生かし、あったか農場の広報・管理・運営部門を担っています。

「昨年6月、農業体験イベントと野菜の直売の拠点となる、『おにおんハウス』をオープンしました。食を通じてお客様と農場がつながり、心があたたまるような場所にしていきたいです」と敦子さん。

ただし、おにおんハウスはゴールではありません。夫妻の目標は面積18万坪の体験型テーマパークの実現だといいます。

「畑と田んぼ、レストランやキャンプ場、アスレチックなどのエリアも作り、子どもも大人も農業の魅力を体感できる施設を作りたいと考えています」

目標は2040年の開園。実現のための課題は少なくありませんが、志を同じくする農場メンバーと共に、渥美さんたちの挑戦は続いていきます。

立つたまねぎですが、熱や水で失われる成分が多いため、効率よく摂取するには生で食べるのが一番。辛みが少なく、生のままでも食べやすいのが白たまねぎです。国内で最も生産量の多い黄たまねぎが通年手に入るのに対し、白たまねぎは出荷の時期が短い季節感のある野菜。この白たまねぎの一大産地の篠原町は、日本一早い出荷で知られています。

「出荷するのは12月下旬から3月中旬までですが、特に希少なものは葉付き白たまねぎ。すぐに葉っぱがしおれてしまうので、葉付きは新鮮なしるしです。12月下旬から1月初旬頃までしか出回らないんですよ」



そう教えてくれたのは、坪井町と篠原町で農業を営む「あったか農場」の渥美隆裕さん。2012年に新規就農し、たまねぎ作りを始めたそうです。浜松出身の渥美さんは建設業の現場監督として働きながら、いつ

たまねぎ(鱗茎)生  
100gあたりの成分表

エネルギー	33kcal
たんぱく質	1.0g
炭水化物	8.4g
カリウム	150mg
β-カロテン	1μg
ビタミンB1	0.04mg
葉酸	15μg
ビタミンC	7mg
食物繊維	1.5g

出典：日本食品標準成分表(八訂)増補2023年



【取材協力】  
株式会社あったか農場  
代表取締役社長 渥美 隆裕さん  
取締役 渥美 敦子さん  
浜松市中央区坪井町5021  
TEL.053-525-6390  
FAX.053-543-4330  
https://www.attakanoujyou.jp  
「おにおんハウス(あったか農場直売所)」  
9:00~16:00 月曜定休



【参考資料】  
「まるごと たまねぎ」八田尚子(構成・文)、野村まりこ(構成・絵) 絵本塾出版  
はままつフードパーク https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/foodpark/hamamatsu-foods/tamanegi.html